

# 第65回 昭島市新春駅伝競走大会

昭島市の新春を飾る駅伝競走大会が1月12日に行われ、中学生男子の部に33チーム、女子の部に29チームが参加しました。晴天にも恵まれ、沿道の皆さんの温かい声援を受けながら約13キロメートルを5人で継走しました。

今年の優勝団体は、中学生男子の部では昨年に引き続き「清泉中陸上競技部A」女子の部では「瑞雲中陸上部女子A」でした。



## 中学生の部 大会結果

### 男子の部

	チーム名	タイム
優勝	清泉中学校陸上競技部A	40:03
2位	拝島中陸上競技部	41:15
3位	多摩辺中陸上競技部A	41:39
4位	瑞雲中陸上部男子A	43:15
5位	福島中サッカー部	43:21
6位	拝島中バスケットボール部A	44:15

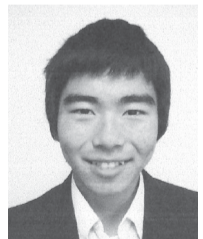
### 女子の部

	チーム名	タイム
優勝	瑞雲中陸上部女子A	49:42
2位	拝島中陸上競技部	50:16
3位	VIKINGS	50:16
4位	福島中バスケットボール	50:55
5位	拝島中女子バスケットボール部	51:09
6位	プリンセスアマベ	51:16



### 繋がる想い

拝島中学校二年  
野田 信晴



私は今回の新春駅伝で感じたことが数多くあります。

私は去年もこの駅伝に参加しました。前回は会場が違い上り下りがとても多かったのを覚えています。今回はほとんど平坦で走りやすかったため、前回より不安は少なかったのですが、やはり緊張は大きかったです。そして人数も5人となり、「一人一人の責任が重くなった」と感じました。私は5区を任されました。アンカーに選ばれたのは嬉しかったのですが、正直自身がありませでした。本番でベストが出せるよう頑張ろうと決意し、日々の部活動に励みました。駅伝当日の朝、緊張からか、チームでの口数がいつもより少ないと感じました。しかし、アップをしていくうちに、明るくなっていき、このチームの良さを再確認することができました。

そして、スタート地点に移動し、体を冷やさないように足ぶみなどをしていくうちに一区がスタートし、周囲が応援であふれかえりました。続々とタスキリレーが行われていき、私の出番となりました。前走者から「ファイト」の一声で背中を押されながら、みんなの思いが詰まったタスキを肩にかけ、スタートしました。上の順位を目指して、必死に走りました。結果は二位。一位には届きませんでした。しかし、このメンバーでベストを尽くすことができましたと感じています。

みんなで戦った四十分に繋がる想いを感じました。



### 気持ちと向き合い気付いたこと

拝島中学校一年  
西村 友里



私は今回、初めて新春駅伝に参加した。私は中長距離をやっている日々つらい練習に取り組んできた。

そして駅伝のメンバーが発表され、私は三区を走ることになった。その時は嬉しさと共に頑張ろうという気持ちになった。今回メンバー全員が一年生というところが少し不安だったけど仲間を信じて頑張ろうと思った。

そしてついに本番の日を迎えた。私はワクワクと緊張が合わさった気持ちでいた。一区がスタートし緊張がさらに増した。そして二区へと襷がわたり、そろそろだと思い、少し体を動かし、深呼吸をした。番号が呼ばれ私は一位で襷を受け取った。

その時は緊張から一位で次に襷を繋ごうという気持ちに変わっていた。地域の人や家族がたくさん応援してくれて諦めそうになった時も頑張ることができた。

私は四区に一位で襷を繋ぐことができた。ホッとして「やりきった」という気持ちと「もう少し頑張れた」という思いが残った。

そして残りの二区のメンバーを皆でたくさん応援した。

今回の駅伝は一年生だけのメンバーで不安もあったけれど、皆で一本の襷を繋ぐことで、五人が一つの目標に向かう、一体感を感じることができた。

結果は二位だったけれど達成感と走る事は自分の気持ちで結果にも影響がでるということが分かった。

来年は自分の練習の成果を出し切れるような走りをしたい。

